

新4K8K衛星放送の 受信設備・受信環境に関する全体状況

2020年5月26日
日本放送協会

NHKの新4K 8K衛星放送

■ NHKの新4K 8K衛星放送

- 2018年12月1日、4Kと8Kの本放送開始

BS4K

超高精細映像の入り口となるチャンネル放送は、毎日6時～24時

幅広いジャンルの番組を提供し、超高精細チャンネルの先導的な役割を果たす

BS8K

次世代の放送文化を牽引するチャンネル放送は、毎日10時～22時10分

世界最先端メディアとして、“NHKのフラッグシップ”チャンネルを目指す

■（参考）NHKの衛星放送

BS1

- 衛星基幹放送の広域性、経済性、大容量性及び高品質性を生かした情報の提供を行う総合放送

BSP

- 外部の事業者の企画・制作能力を放送番組に活用し、過去の優れた文化の保存並びに新たな文化の育成及び普及を促進することを目的とする総合放送

BS4K

- 右旋円偏波の周波数1/3の範囲内において行う総合放送

BS8K

- 左旋円偏波の周波数1の範囲内において行う総合放送

右 旋

左 旋

NHKの新4K・8K衛星放送の取り組み

① 4K・8K設備の重点配備とコンテンツの充実

最高水準の放送・サービスを提供するため、4K・8Kの設備整備に重点的に取り組んでいる。

BS4Kと2K波一体制作番組の同時放送を拡充させ、4Kの魅力にふれる機会を増やし、普及を目指す。

BS8Kでは、後世に伝えたい至宝を世界最高の映像クオリティで記録するなど、公共メディアにふさわしい取り組みを進める。



8K4倍速カメラ



8Kヘリ



8K中継車



4K・2K一体制作・同時放送のイメージ

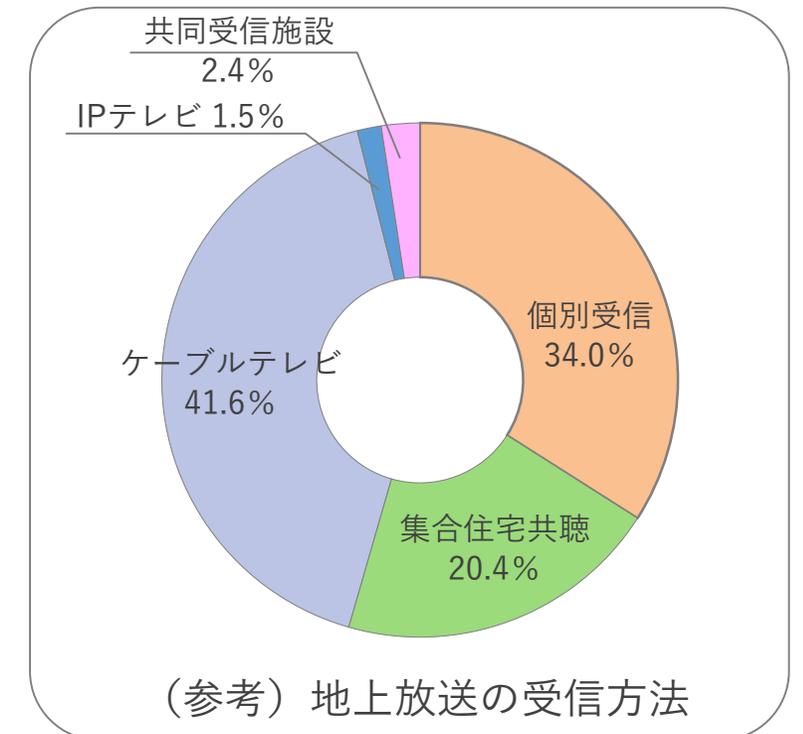
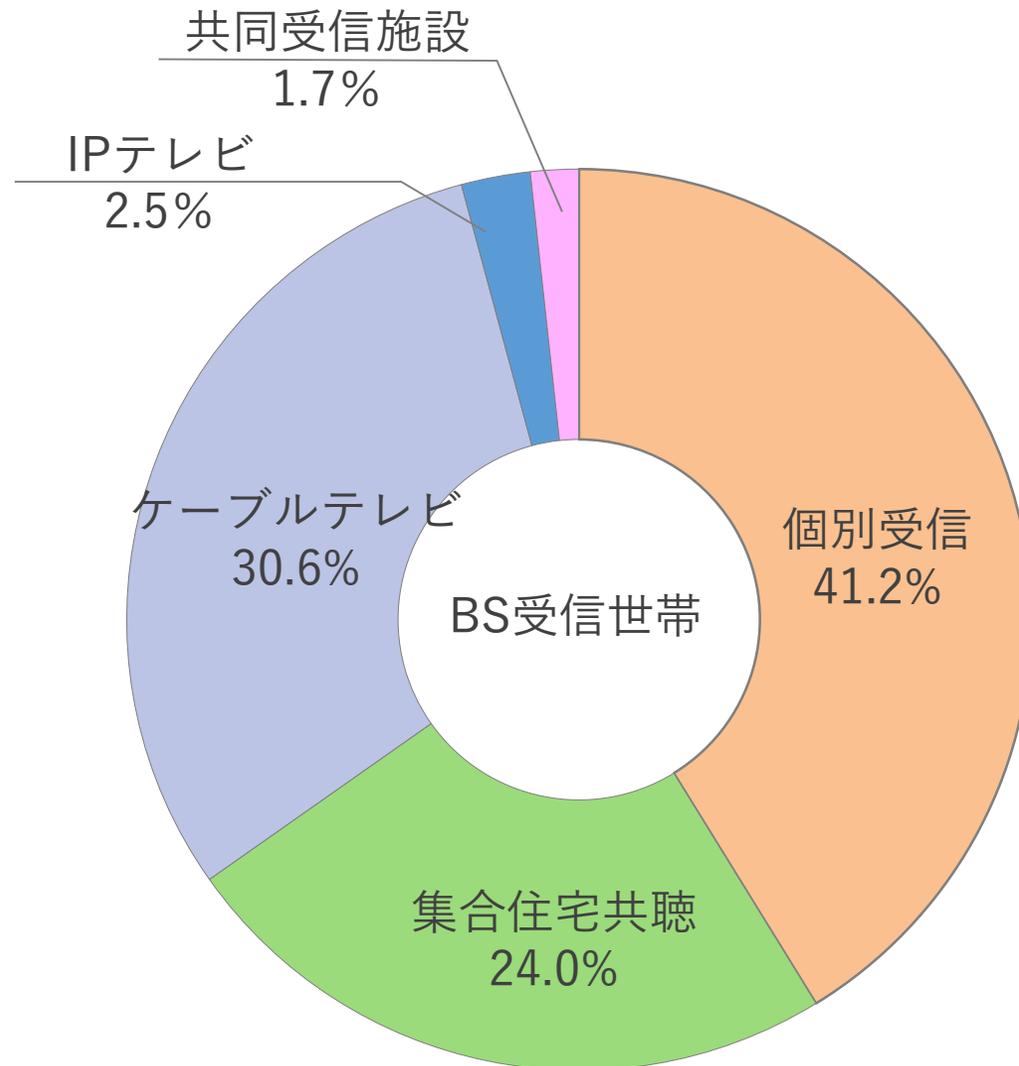
② 受信公開設備とパブリックビューイング

全国の放送局に8K受信環境を配備し、受信公開を実施してきた。また、4K・8Kのパブリックビューイングにも積極的に取り組み、ラグビーワールドカップでは4K7試合、8K3試合を全国各地で開催し、約4万人にご覧いただいた。



パブリックビューイング

BS受信世帯の受信方法の内訳（2019年度）



建物まで

①アンテナの対応

- 右左旋対応アンテナへの交換
- または、ケーブルテレビからの供給

建物内

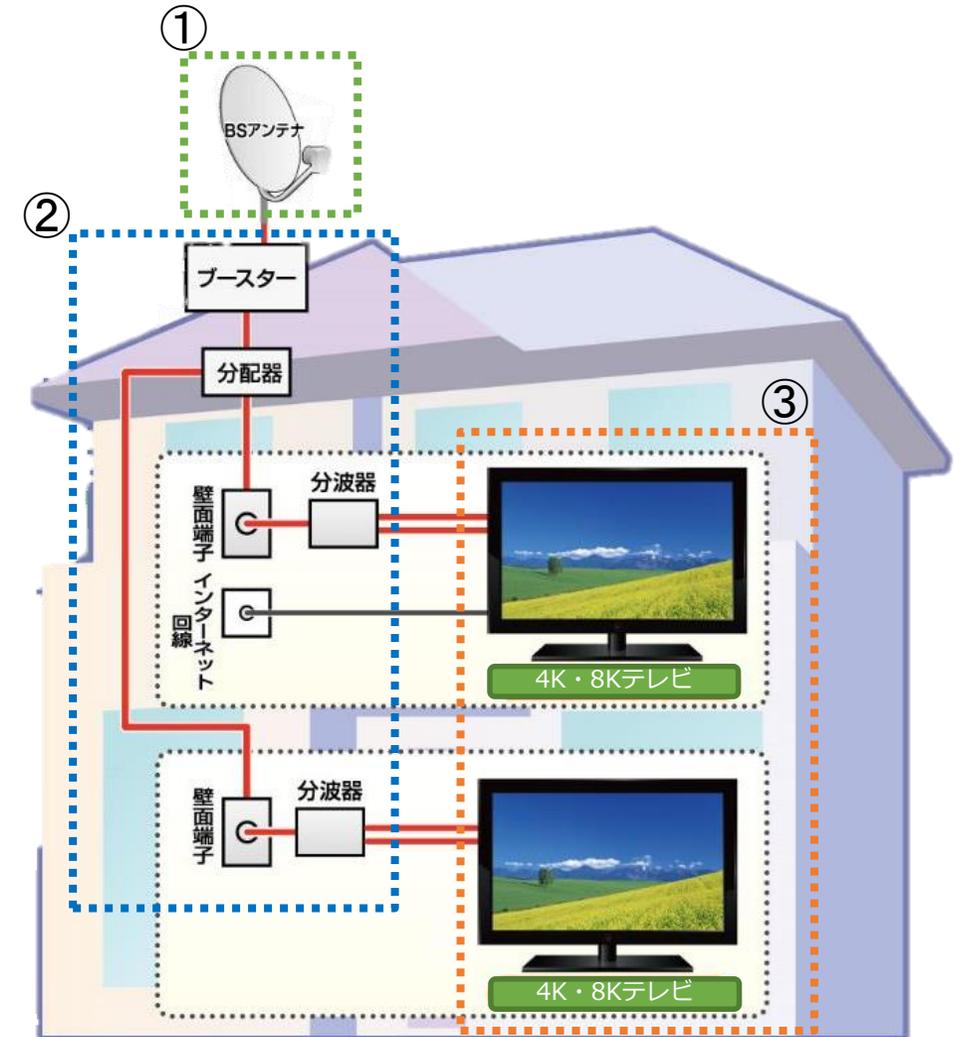
②3.2GHz対応機器への交換

- アンテナから受信機までの機器（ブースター、分配器、壁面端子等）が対象
- ケーブルテレビ（STB受信）の場合は交換不要

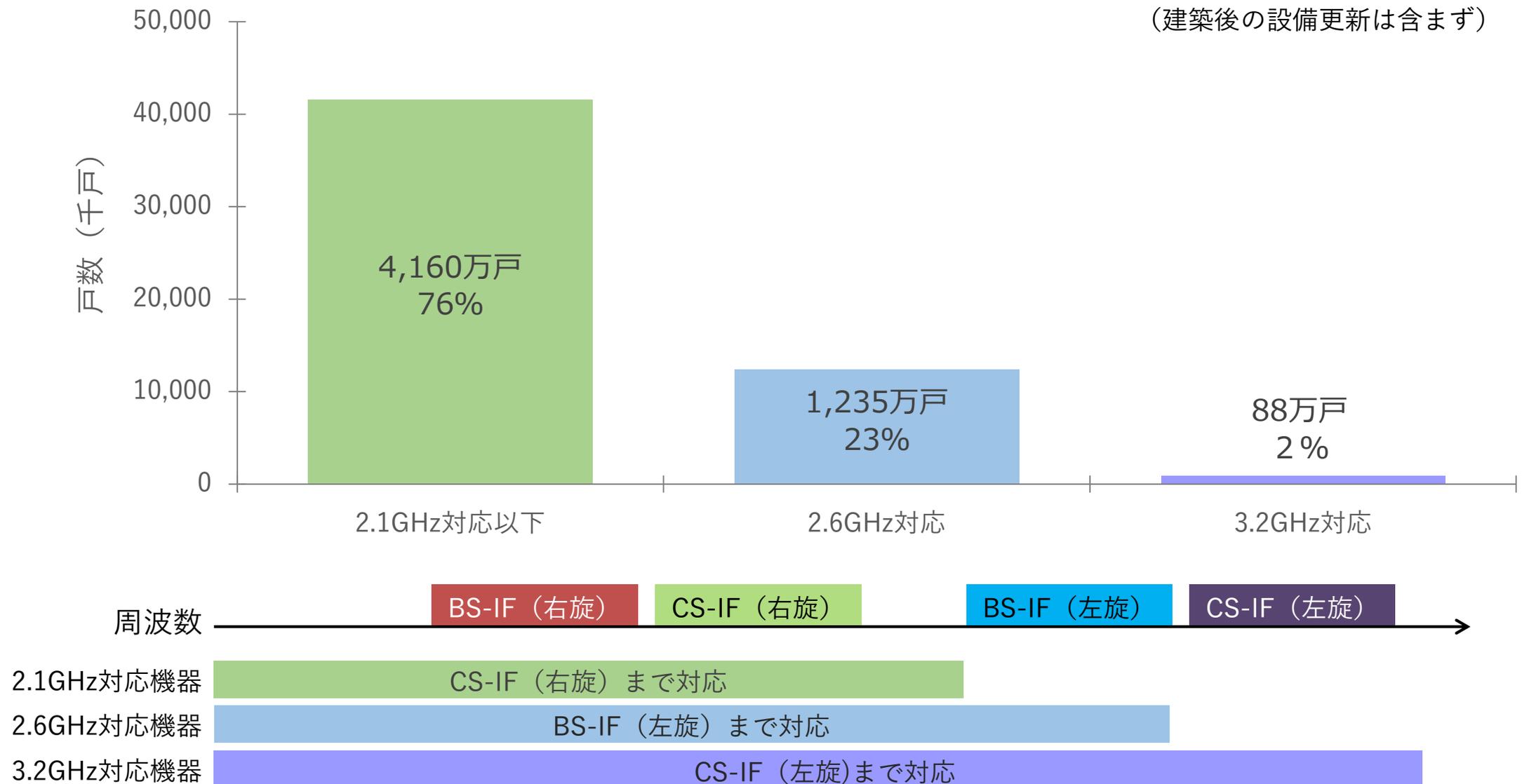
部屋

③受信機の準備

- 4K・8Kテレビ、レコーダーなど
- または、補助機器（STB等）

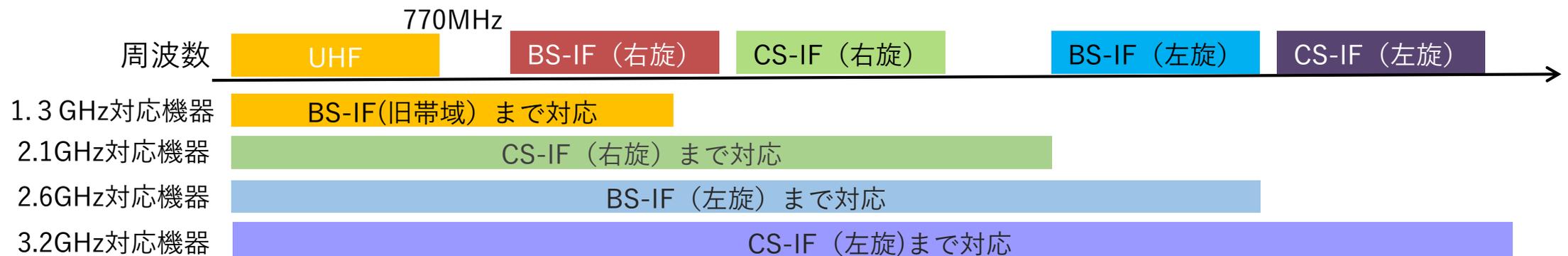


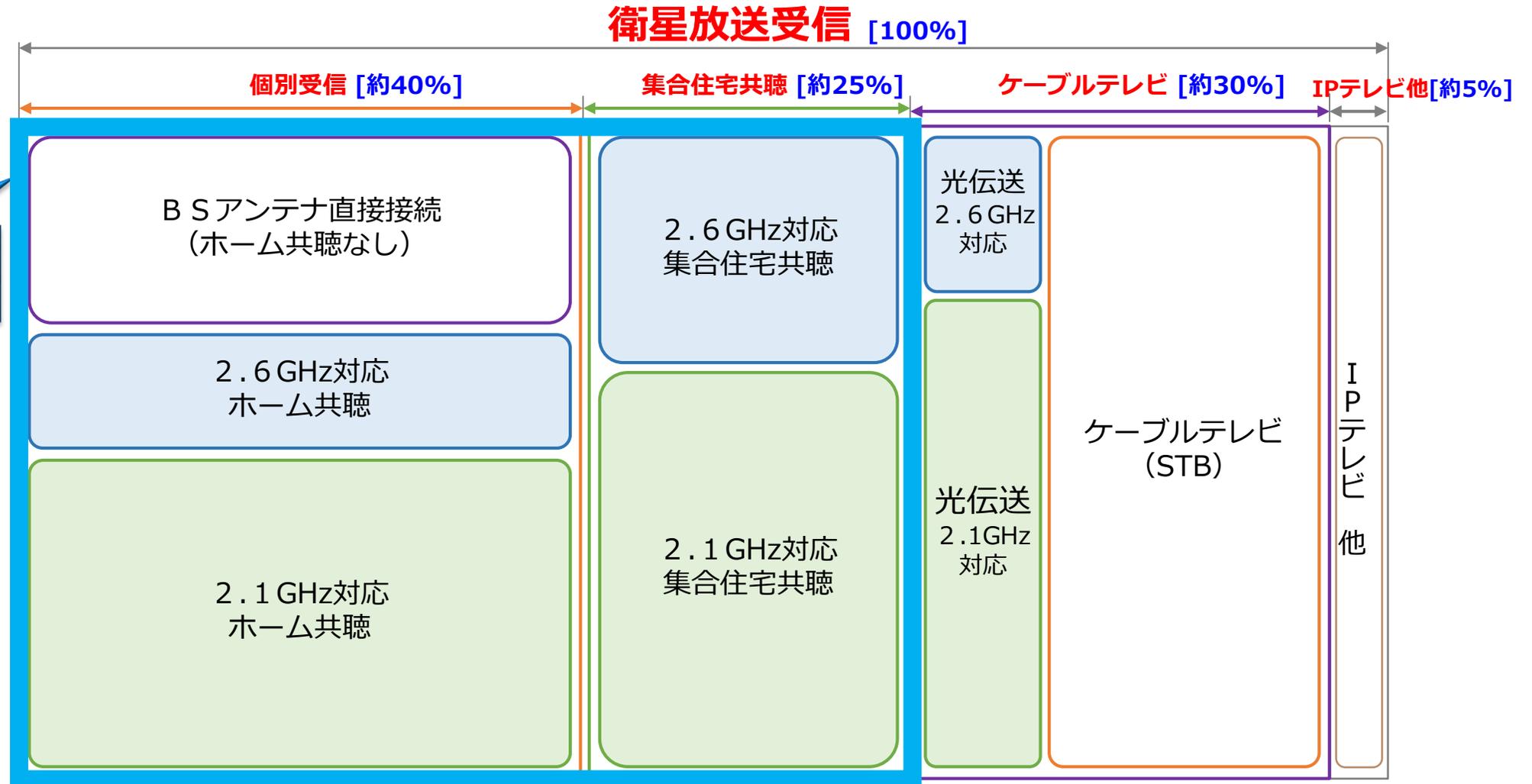
宅内設備における周波数対応状況 (新築年より推計)



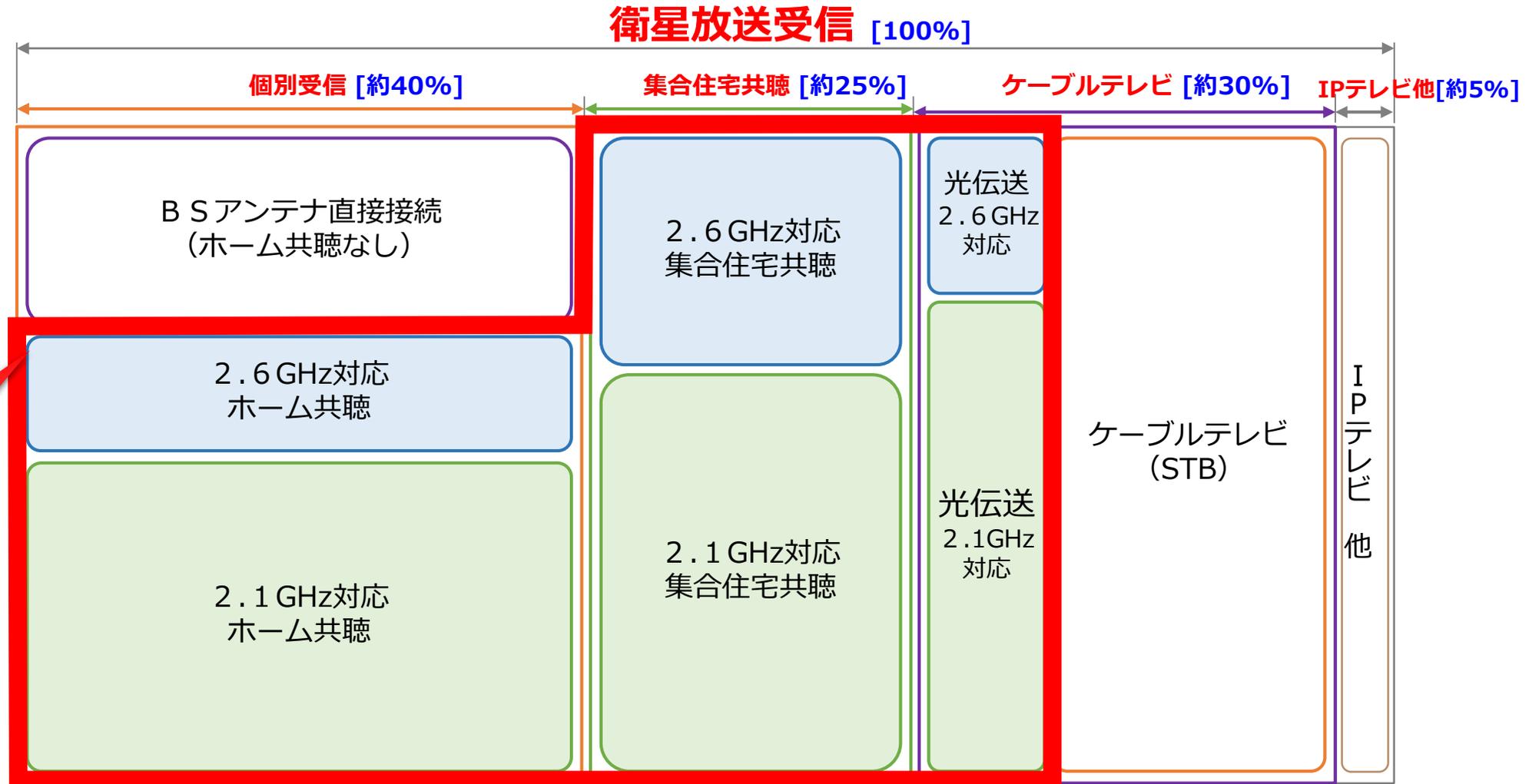
<左旋対応>

ケーブルテレビ (光伝送)	衛星アンテナの出力信号のまま伝送	宅内設備の改修が必要
ケーブルテレビ (STB)	放送しているチャンネルを選択し 地デジ放送で使われているUHF帯域 (770MHz) で伝送	対応不要 (STBが必要)
IPテレビ	放送しているチャンネルを選択し IP信号に変換してインターネット回線で伝送	対応不要 (IPテレビ用の 「STB or 対応テレビ」)

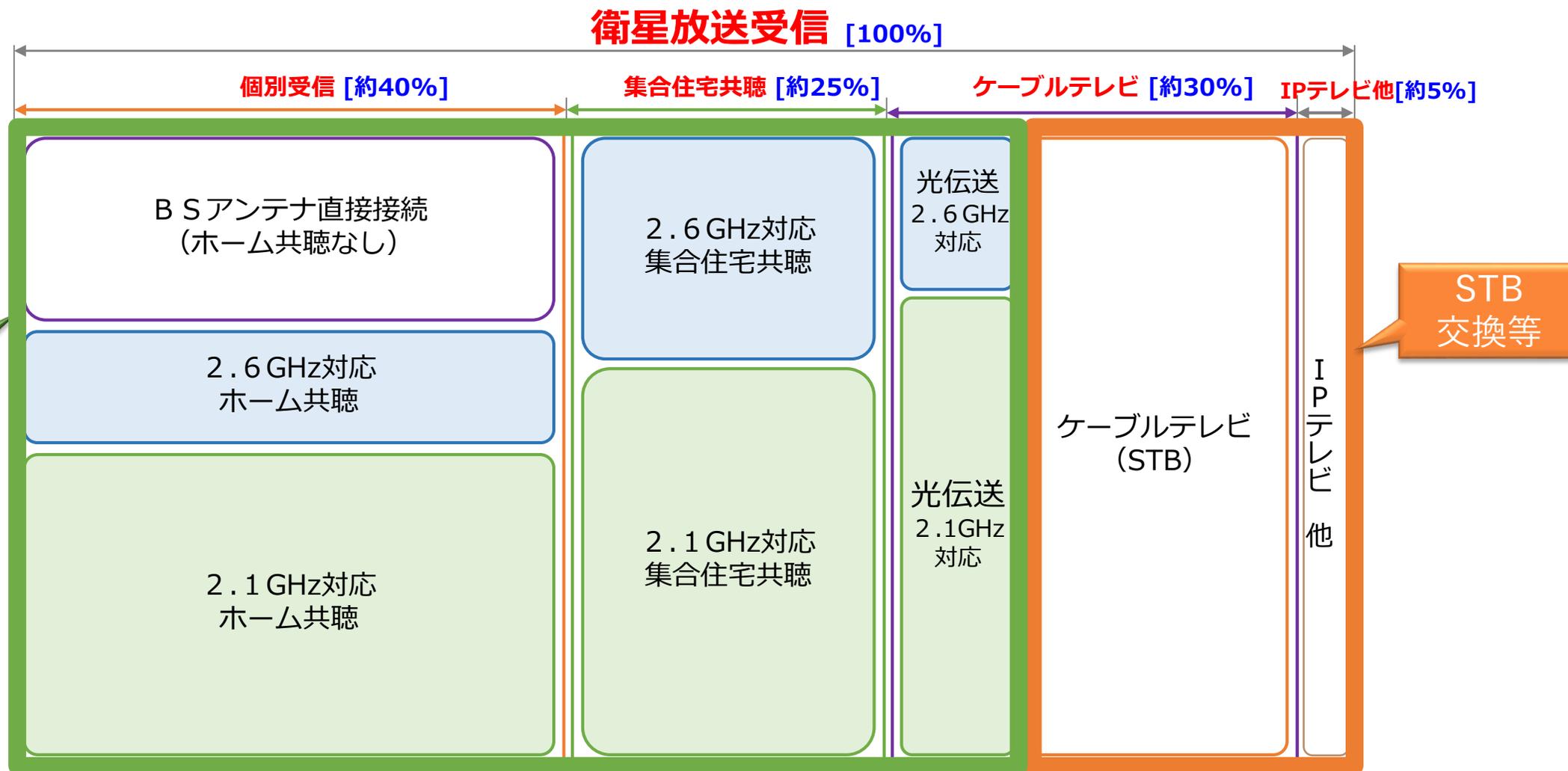


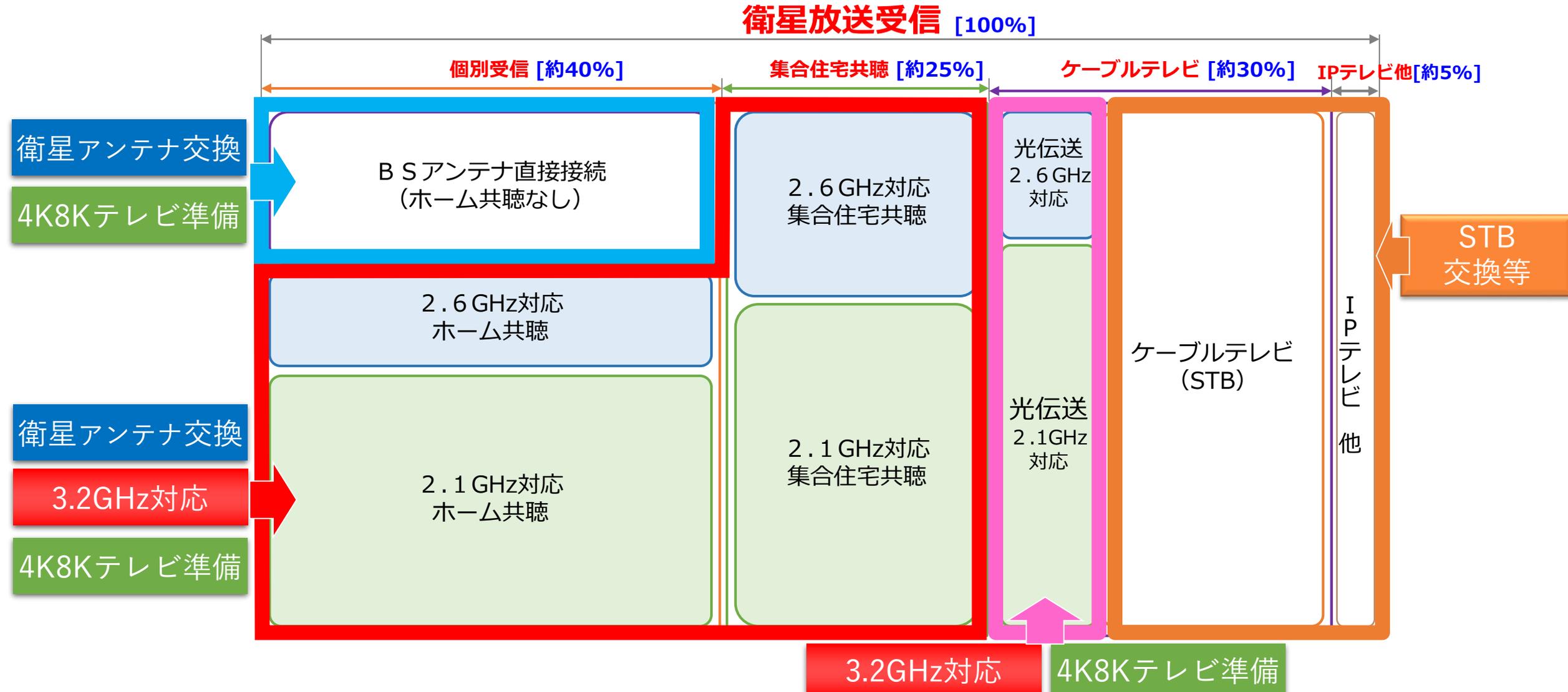


衛星アンテナ
の交換が必要



左旋対応への改修ポイント (部屋の中)





最後に

■魅力的なコンテンツの充実

>効率的な制作体制の整備

>業界全体での周知広報活動

■左旋帯域への、新規放送事業者の参入に期待

■左旋受信設備の促進

>新築住宅では左旋対応の流れは出来つつある

>左旋対応アンテナへの交換

>ケーブルテレビの一部を含め、建物内の伝送機器の更新